

Partial translation of cited Reference 5

JP Utility Model Application No.62-019316 (1987) (JP Utility Model Publication (Kokai) No.63-127380 (1988))

Published date: August 19, 1988

Application date: February 12, 1987

Applicant: System Maintenance Co.Ltd.

Title: Termite detecting piece

2. Claim

A termite detecting piece characterized in that water-holding hole is set in the proximity of a center core of a cylindrical or rectangular lumber piece and a cylindrical water tank having bottom is attached in the water-holding hole in detachable manner.

4. Brief Description of the Drawings

Figures 1 and 4 are schematic cross-section views of the piece. Figure 2 is an A-A cross section view of the piece of figure 1. Figure 3 is a schematic cross-section view which shows the state that the termite detecting piece set under the ground. Figure 5 is a schematic plain view.

1 cylindrical lumber piece

2 rectangular lumber piece

3, 13 water-holding hole

4 proximity of a center core

5 cavity

6 bottom

7, 14 water tank

8 top

9 stopper

10 cover

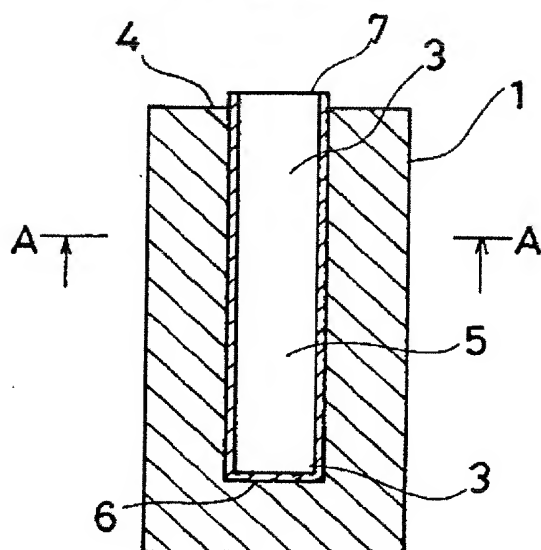
11 concave area

12 water-flowing hole

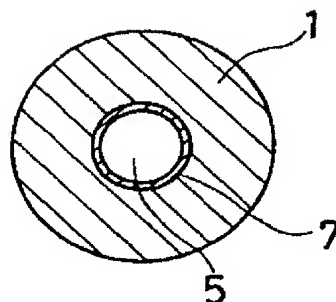
G in the ground

W water

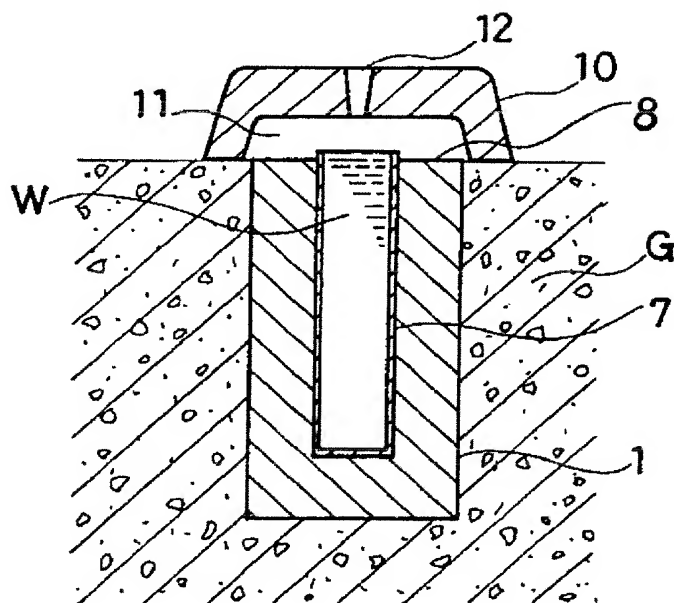
第 1 図



第 2 図

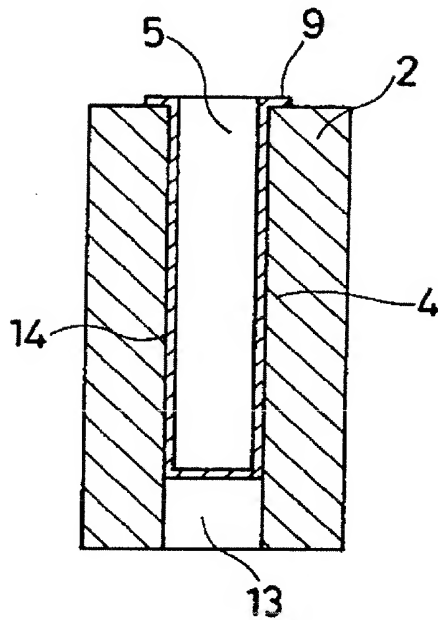


第 3 図

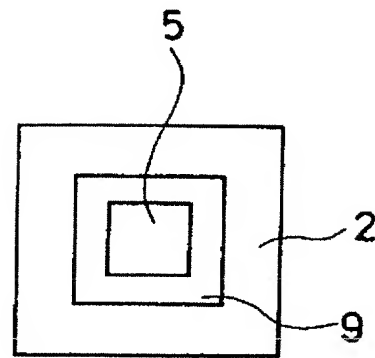


図面その2
後図面なし

第 4 図



第 5 図



827

実用新案登録出願人 株式会社 システムメンテナンス

実用 63-127380

公開実用 昭和63- 127380

PA05-144
reference 5

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭63-127380

⑬ Int. Cl.⁴

A 01 M 1/00

識別記号

庁内整理番号

6838-2B

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月19日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 白あり検出片

⑯ 実 願 昭62-19316

⑰ 出 願 昭62(1987)2月12日

⑱ 考 案 者 本 間 武 千葉県松戸市古ヶ崎4丁目3570番地

⑲ 出 願 人 株式会社 システムメ 東京都渋谷区宇田川町11-3 営研ビル
メンテナンス

明 細 書

1. 考案の名称

白あり検出片

2. 実用新案登録請求の範囲

円柱又は角柱状の木質片の芯部近傍に、保水孔を設け、保水孔内に筒状で有底の水槽を着脱可能に取付たことを特徴とした白あり検出片。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、木造建築構造物例えば家屋周辺の地中に埋設して使用する白あり検出片に関するものである。

〔従来の技術〕

白ありの検出片としては、本件出願人が開発し実用新案登録出願をした技術がある。これは地中に埋設すべき木質片と、該木質片上部を着脱自在に被覆する蓋体等よりなっている。

〔考案が解決しようとする問題点〕

上記のように木造建築構造物周辺に木質片を埋設し、周辺領域の白ありを誘引してこれを検出し

ようとする白あり検出具は、本件出願人が提案したものを除いては提案されていない。

なお、本出願は、上記本件出願人が提案したものの改良に関するもので、従来の白あり検出片より保水性を向上し、より効率よく白ありを誘引するものである。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案の構成の要旨とするところは、円柱又は角柱状の木質片の芯部近傍に保水孔を設け、保水孔内に筒状で有底の水槽を着脱可能に取付たことを特徴とした白あり検出片である。

上記木質片は、できるだけ白ありが好む材質を選択すべきである。具体的には、松や杉が適当である。

水槽材としては、合成樹脂等が適当である。

木質片の形状は円柱又は角柱状をし、木質片の芯部近傍に保水孔を設ける。保水孔は木質片を貫通している場合と、貫通していないで底部を有する場合がある。保水孔の形状は円筒又は角筒状をしている。この保水孔内に円筒状又は角柱状で内

部が空洞かつ有底の水槽を着脱自在になるように取付ける。水槽は上端部に鍔を設けてもよい。

〔作用〕

本考案は、上記のように構成したものであり、次のように使用する。

本考案の白あり検出片は、木造建築構造物や白ありが営巣していると思われる周辺の適当な地中に埋設して、周辺地中より木造建築構造物に侵入しようとする白ありを誘引し、白ありの存在を検出するのに使用する。

この白あり検出片の上には蓋体を位置せしめる。蓋体の底部には凹部を設け木質片と干渉しないようにしてあり、中央部には通水孔を設けてある。木質片は多数用意し、検出対象の木造建築構造物の周囲を1 mから2 m間隔で配置するのが好ましい。

白あり検出片を前記のように配置しておくと、もし木造建築構造物の周辺に白ありが生息しており、白ありが木造建築構造物に侵入しようとした場合には、その途中でこの白あり検出片やこの上

部にある蓋体の凹部に結露する水分に誘引されることになる。そしてこれに侵入するので、定期的に蓋体を取外して、木質片又は蓋体の凹部に白ありが存在するか否かを点検することにより、白ありの存在を早期かつ容易に発見することができる。白ありの存在が確認された場合には、直ちに対策を講じることによって木造建築構造物の被害を事前に防止することができる。

〔実施例〕

以下図面に基づいて本考案の実施例を説明する。

まず第1図から第3図を用いて、本考案の第一の実施例を説明する。

円柱状木質片1の芯部近傍部4に、円柱状の保水孔3を設ける。保水孔3は円柱状木質片1を縦に設けてある。この保水孔3内に筒状で空洞部5と底部6を有する水槽7を着脱自在になるように取付ける。

以上のように白あり検出片を構成し、円柱状木質片1全体を地中Gに埋設する。埋設は上端部8が隠れない程度とする。なお水槽7は保水孔3内

に挿入しておく。

円柱状木質片 1 を地中 G に埋設後上端部 8 の部分を円盤状の蓋体 10 で覆う。蓋体 10 の底部には凹部 11 を設けてあり、凹部 11 の中央部には通水孔 12 を設けてあって、上面と貫通している。

このため蓋体 10 の通水孔 12 より水分 W、例えば雨水あるいは人工的に散水した水が水槽 7 の空洞部 5 に供給され、さらに溢れた水は円柱状木質片 1 や周囲の地中 G に滲透する。やがて水槽 7 内の水分 W は蒸発し、円柱状木質片 1 や地中 G から蒸発した水分等も含め蓋体 10 の凹部 11 に結露する。白ありはこの結露や円柱状木質片 1 に誘引されて、本白あり検出片及びこの周辺に集まる。

次に第 4 図・第 5 図を用いて、第二の実施例を説明する。

角柱状木質片 2 の芯部近傍部 4 に角柱状の保水孔 13 を設ける。この保水孔 13 は角柱状木質片 2 の底部を貫通してる。

また、保水孔 13 内に角状の水槽 14 を挿入する。水槽 14 の上部には鍔 9 を設けてあり、保水孔 13 内

に水槽14を安定させている。このように本白あり
検出片を構成し、第一の実施例と同じように使用
する。

〔考案の効果〕

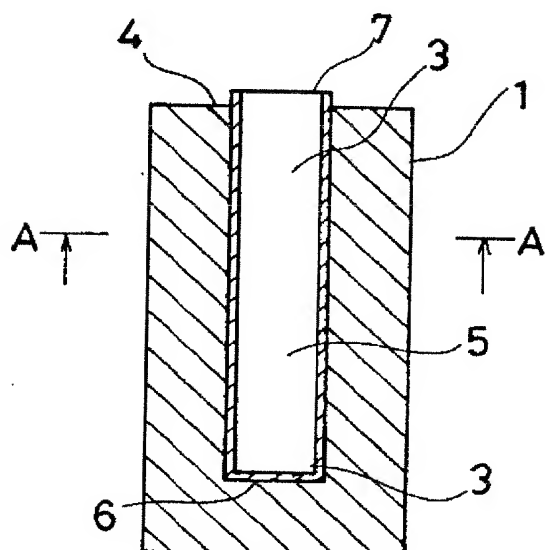
本考案によれば、保水性を向上させ極めて簡易
な手段で、木造建築構造物周辺の白ありを検出す
ることができる。

4. 図面の簡単な説明

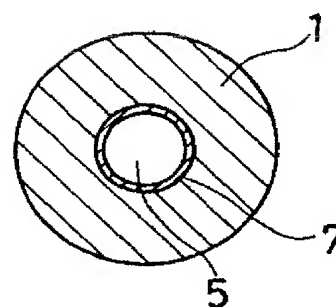
図面は本考案の一実施例を示したもので、第1
図・第4図は概略縦断面図、第2図は第1図のA
- A線断面図、第3図は白あり検出片を地中に設
置した状態を示した概略縦断面図、第5図は概略
平面図である。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 … 円柱状木質片 | 2 … 角柱状木質片 |
| 3 , 13 … 保水孔 | 4 … 芯部近傍 |
| 5 … 空洞部 | 6 … 底部 |
| 7 , 14 … 水槽 | 8 … 上端部 |
| 9 … 鋳 | 10 … 蓋体 |
| 11 … 凹部 | 12 … 通水孔 |
| G … 地中 | W … 水分 |

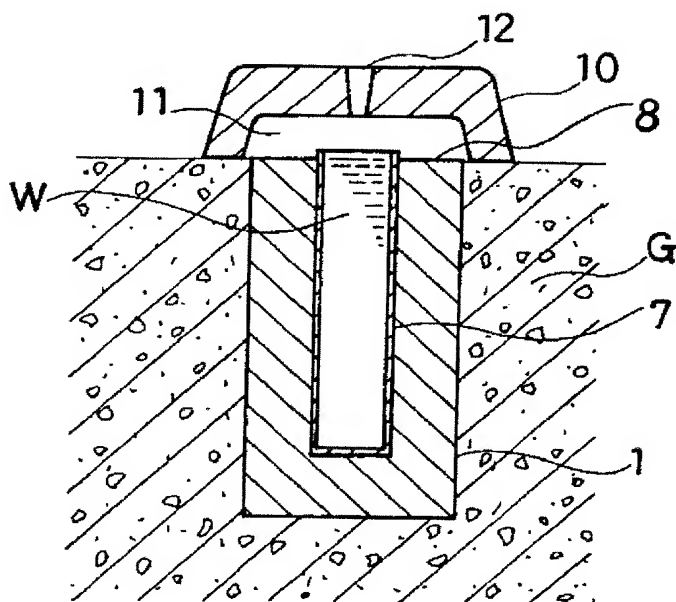
第 1 図



第 2 図

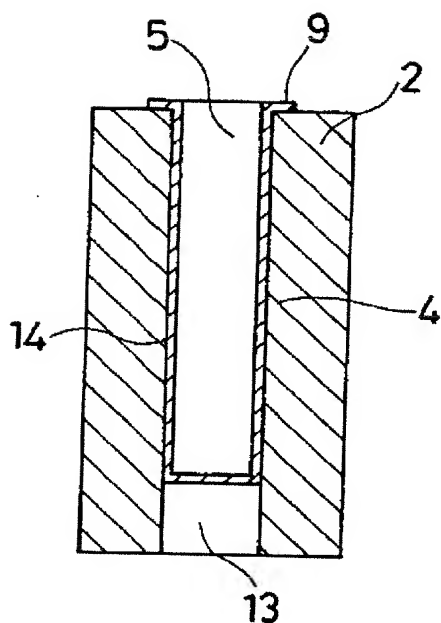


第 3 図

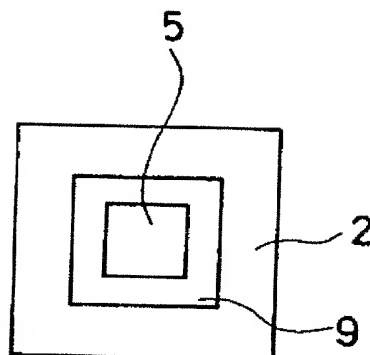


図面その2
後図面なし

第 4 図



第 5 図



827

実用新案登録出願人 株式会社システムメンテナンス

実用63-127380